

第9回きたひろしま都市型観光推進協議会 議事

1 日時 平成28年10月27日(木) 18時30分から20時30分

2 場所 北広島市役所第3庁舎 3階会議室

3 出席状況

NO	氏名	職業等	出欠
1	上原康雄	北広島市観光協会会長	欠
2	山崎悦子	北広島商工会会員(行政書士山崎法務事務所)	出
3	(副座長)千葉隆一	札幌ゴルフ倶楽部 支配人	欠
4	田村直人	札幌北広島クラッセホテル総支配人	出
5	(座長)川口満久	ホクレン農業協同組合連合会統括マネジャー	出
6	中村哲	三井アウトレットパーク札幌北広島所長	欠
7	三浦麻衣	市民(会社員)	出
8	善甫啓太	市民(会社員)	出
9	山田基	北広島市経済部観光振興課長	出

きたひろしま都市型観光推進協議会事務局

所属	役職	氏名
経済部観光振興課	主査	青木 潤
	主事	高木 梢
	主事	千葉 啓

傍聴者

人数
0人

4 議事録

1. 開会

事務局) 本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

定刻になりましたので、ただいまから第9回きたひろしま都市型観光推進協議会を始めさせていただきます。

私は、経済部観光振興課の青木と申します。今年度1回目の協議会となり、昨年度まで座長を務めておりました吉岡先生が退任となり抜けられましたため、新たに座長を選出するまでの間、司会進行を務めさせていただきますので、どうぞ、よろしく願いいたします。

まず本日は、9人の構成員の皆様のうち6名が出席して頂いており、委員の過半数が出席されておりますことから、会議は成立していることを、まず報告させていただきます。

2. 出席者の紹介

事務局) 続きまして、次第2、「協議会構成員の紹介・事務局の紹介」に入らせていただきます。

配布資料の次第の裏面をご覧ください。

お名前をお読みしますので、簡単な自己紹介をお願いします。

【順に自己紹介を行った。】

3. 座長及び副座長の選出

事務局) 続きまして、次第3「座長の選出」に入らせて頂きます。

きたひろしま都市型観光推進協議会設置要綱第3条第2項及び第3項で「協議会の会議に座長及び副座長を置き、座長は構成員の互選により選任する」と規定されており、吉岡先生の後任を選出させていただきます。

【座長は川口委員、副座長は千葉委員に決定した。】

4. 座長挨拶

座長) 座長として任命されましたので挨拶させていただきます。とりあえずは進行係として進めさせていただきますたいなと思います。きたひろしま都市型観光推進協議会では、2年に渡って「都市型観光の方向性」をまとめてきました。せっかく皆さんで色々考えた方向性ですから、それをどのように実行していくのか、というところが今後ポイントになってくると思います。方向性の実行と、それを検証してまた次に生かすといった流れでやっていくかと思っておりますので、そこに少しでもこの会議が役に立つように進めていきたいと思っておりますので、皆様よろしくお願いいたします。

5. 議事

座長) それでは次第5、議事に入ります。「(1) 観光振興課の新設について」、事務局より説明をお願いします。

事務局) 観光振興課の新設についてご説明いたします。昨年度まで商業労働課という部署がありまして、そこで商業労働、観光、消費生活を担当していたのですが、交流人口の増加を図るため、商業労働課が

2 つに分かれまして、商業労働、消費担当が工業振興課と合わさって「商工業振興課」に。観光の部分は、新設という形で「観光振興課」となりました。

課長の山田と主査の私は昨年度の商業労働課から引き続き、その他にも新規のメンバーも加えて 4 人体制の部署となります。

事業内容については、昨年度から引き継いでいる事業の 1 つが「観光振興事業」です。これは北広島市観光協会への補助や、その運営のお手伝いをメインとしています。

それと「都市型観光推進事業」です。この協議会も事業の一環ですが、先ほど座長の挨拶にもありました「都市型観光の方向性」を具体的にどう取り組んでいくかという事業です。今年度の取り組みについては、後ほどご報告させていただきます。また、観光の PR ということで、首都圏の旅行会社や雑誌出版社などの訪問のほか、札幌広域圏組合主催の「さっぽろ圏魅力発見フェア」が 10 月 29 日から有楽町で開催されますので、参加してきます。今回は特産品ということで、エーデルワイスのベーコン串の調理販売や、ハロウィンが近いということでカボチャを使ったお菓子を展示し、北広島市を PR させていただきます。

また今年度からの新規事業として「サイクルツーリズム等観光拠点整備事業」がございます。サイクルイベントの実施やガイドマップの作成、プロモーション、サイクルスタンドの設置などの整備事業という形で、新たに動いています。

昨今「地方創生」という言葉は皆さん耳にしているとは思いますが、まちづくりの起爆剤になるものを生み出そうと各自治体で頑張っているところです。北広島市は決して観光地として大きくなってきたまちではないのですが、観光という 1 つの取り組みを通じて賑わいを作って、最終的には人に住んでもらいたい、この流れを作っていくなくてはならないという認識があって観光振興課は新設した次第です。

座長) 質問がある方いらっしゃいますか。

○委員からの意見

- 移住関係のお話しもありましたが、そこに繋げていくということでしょうか。それは観光ではないですね。
 - ◇ 定住も、いきなり人がそこに住むわけではありません。観光客がすべて定住に繋がるわけではないですが、我々は人を呼んできて北広島市の魅力を知ってもらい、定住に繋げていくということも目的の 1 つとしています。もちろん、観光はもともと経済的な効果が出るという側面もあります。
- 4 人体制ですが、それぞれに担当とかはあるのでしょうか。
 - ◇ 担当割はしているのですが、実質的にみんな携わっているということになってしまっています。顔を出した方が良いということもありますし、全体的に見ていないと繋がりが 1 つずつあるものですから、この部分はこのスタッフと分けてしまうのはなかなか難しいかなと思っています。
- 商業労働課の時はスタッフの数も多かったものですから、7 人いたものが 4 人になってしまい、イベント等のマンパワーが必要なときは障害となっているのは事実ですが、別組織となって観光ときちんと向き合っていく環境ができたのはメリットと考えております。

座長) 質問は以上でよろしいでしょうか、続いて「(2) 北広島市の都市型観光の方向性について」説明をお願いします。

事務局) 新しく参加されている委員もおりますので、平成 26 年度から 2 年間に渡って委員の皆様にご意見をいただき、昨年度作成しました「都市型観光の方向性」のおさらいをさせていただきます。

【資料 1 に基づいて説明を行った。】

座長) この件について、ご質問等がありますでしょうか。

委員) 質問なし

座長) それでは「(3) H28 年度の都市型観光推進事業の報告について」説明をお願いします。

事務局) 今年度の都市型観光推進事業の報告ですが、1 つ目として北海道ゴルフツーリズムコンベンションを 5 月 30 日から 6 月 3 日まで実施しました。

北海道ゴルフツーリズムコンベンションは、国土交通省北海道運輸局のビジットジャパン地方連携事業として、海外の旅行会社やメディアの方を招聘して、ゴルフと観光を結びつけるような観光資源の PR を行いました。

参加団体は千歳市、北広島市、苫小牧市、札幌市のほか、北海道ゴルフ観光協会、北海道運輸局等が連携して実行委員会を立ち上げて招聘事業に取り組んだところです。

スケジュールとしては、北広島市では 6 月 1 日にアルトラチェでジェラートを食べ、大曲にありますゴルフ 5 の視察をしました。6 月 2 日には三井アウトレットモールで昼食とショッピングの後、札幌リージェントゴルフ倶楽部の方でカートに乗ってコースの視察を行いました。

このコンベンション自体は、開催地が千歳市ということもあり、ウェルカムパーティや商談会等は千歳市をメインに行っています。その他、参加自治体の札幌市、苫小牧市の方も回って帰られたというイベントになります。

参加者は中国、香港、シンガポール、タイ、マレーシア、インドと東南アジアをメインに招聘しております。

資料には写真で当日の様子が掲載されております。私どもも横断幕を作ってお出迎えをし、市内でお買い物されているところに同行させていただいたのですが、アルトラチェやゴルフ 5 では結構お買い物されている様子でした。

市からの支出については、実行委員会への負担金 15 万円のみとなっています。開催地となりますともう少し費用がかかります。

事務局) ビジットジャパン地方連携事業では、ゴルフツーリズムの前にニセコでスキーツーリズムに取り組んでいまして、5 年間実施したのですがある一定の成果が出ています。

ゴルフ業界は 2015 年問題といって、プレーヤーが減るだろうと言われていたのが、結果的に微増という形で全国的になっているんですけども、ただ危機感はずっとお持ちになっていて、ゴルフ場とし

ては今後インバウンドの方に目を向けて、海外の富裕層に来ていただこうという考えです。

ただ、ゴルフツーリズムといってもゴルフだけではなくて、地域に入ってもらってお食事をしていただいたり、買い物をしていただいたり、アクティビティを楽しんでいただき、観光と挟めてやっていくというのがポイントとなります。

今回の視察では、北広島市は札幌リージェントゴルフ倶楽部さんを回ってきました。

ゴルフのインバウンドの問題としては、ゴルフのルールにもお国柄が色々あるものですから、そこを上手く吸収したりとか、キャディさんが英語を話せるだとか、現場の方でも色々課題や要望があったので、今後改善していきたいと考えています。

○委員からの意見

- 先ほど事務局がおっしゃった「キャディさんが英語を喋れない」などの反省や参加者の声は他にありますか。
 - ◇ 簡単なコースの説明やシャワールームの使い方など、「片言でも良いから話せると良い」とのご意見がありました。特に日本の文化と違うところは事前に説明して理解していただくことが大事だという話がありました。
- 今の時点では、市内のゴルフ場には外国人はあまり来ていないということでしょうか。
 - ◇ 市内でゴルフ場を運営している会社が、韓国からの誘客に力を入れているという情報提供はいただいています。北広島市は、素地は出来ているので、今後誘客を見込めるであろう東南アジアをターゲットにしているところです。ただ、まだまだ外国人の方を受け入れる体制にはなっていません。
- それぞれの国ではゴルフは盛んなのでしょうか。
 - ◇ 富裕層に限られている国もあります。ミドルの方まで落ちていないというか、今後プレーヤーは増えるかもしれませんが、今回は富裕層でゴルフ好きで海外旅行もしたいという方をターゲットにしています。
 - ◇ 中国は本当にお金持ちでないとゴルフが出来ない国です。シンガポールは国土が小さいということもあってそんなにゴルフ場はないのですけれど、それでもお金持ちしかしていません。タイ、バンコク周辺のゴルフ場は日本人ばかりです。マレーシアでトーナメントが行われるようなゴルフ場は、すごく良いのですが限られた人しか使えません。

事務局) 今回は旅行会社やメディアの方を誘致して、まずは知ってもらうところからスタートしています。この事業の前に北海道ゴルフ観光協会さんの方で外国まで出向いてプロモーションしたのですが、一方的に伝えているだけではどうにもならないということで、今回はいっそのこと呼んで、見て聞いて触れてもらおうということで始まった事業です。

参加者の声を聞いても、日本のゴルフ場の芝は大変良いものだと。ロケーションも北海道らしくて非常に喜んでいただけたと聞いています。

また、新千歳空港から 50km 圏内でゴルフ・買い物・宿泊が出来る環境はとても良いと評価いただいたところです。

- 香港のネット配信をする会社が襟裳岬を撮影したり、鮭を採ってきたのをすぐ捌いて食べさせ

たり、観光客に色々と体験させる取り組みをしているみたいで、香港の国内に帰ったらすぐにネット配信しています。そういう形でやった方が人を呼べると思います。プロモーションに行くだけでは駄目というのはその通りで、一本釣りに来て欲しい国のメディア関係者に来てもらって、PRすれば効果は出てくると思います。

◇ 札幌市の取り組みで「札幌アンバサダー」という事業が御座います。タイの方 50 日間滞在してもらってブログで発信してもらおう。札幌市だけでなく近郊にも寄ってもらおう。委員に言っていただいたことはまさにこのことで、是非うちのまちも情報提供して来ていただきたいと考えています。

- 6 月 2 日に昼食を三井アウトレットで取って、その後ノーザンホースパークに行っているのに、宿泊先はわざわざ札幌市のホテルですよ。次の日は苫小牧市に向かうのに残念だなと思います。実際に富裕層の方が来てくれてもゴルフだけして泊まらないでそのまま帰っちゃうのかなということが気になりました。

◇ セレモニーの関係と、宿泊先は先に押さえられていたということも影響しています。どこに泊まるのかということはプランニングで色々あるのですが、分け隔てなくやっていこうとはしています。

◇ やはり一泊してもらおうとそこの土地の感覚というか、泊まったというところが違うと思います。通りすぎるというイメージにならないようにして欲しいです。

- この事業は、しばらく続けるということですが、突然函館で主催するということはあるのでしょうか。また、何年くらいやるのでしょうか。

◇ コース設定の問題上、広くエリアを取ることが出来ないなので、開催地の近郊になると思います。事業期間は 5 年間です。

- ゴルフ場の選定はどこが行っていますか。

◇ 北海道ゴルフ観光協会の加盟団体から優先的に選んでいます。

- 事務局も反省しているところですが、ゴルフ場側と市との接点が少ない状態で今まで来ていまして、今後はもっとコンタクトを取って良好な関係を築いていかなければ駄目だなと思っていますところ。

◇ 会員制のゴルフ場はメンバーシップの関係で使えないですよ。

◇ ゴルフ場さんそれぞれで元々のスタイルがあったりとか、なかなか難しいなと思っているところ。今回やってみて、ゴルフ場との繋がりがちゃんと出来ていなかったなという反省点があって、これを契機にゴルフ場さんと繋がりを持たせたいと思いますし、年間 40 万人ほど入込客が来ているものから、なんとか観光に結び付けていくような取り組みをしていかないとはいけません。

座長) ゴルフの関係はここまで大丈夫ですか、次に「サイクルツーリズム等観光拠点整備事業」についてお願いします。

事務局) 「サイクルツーリズム等観光拠点整備事業」については、今年度から市の事業として取り組んでいます。訪日外国人の誘客や交流人口の拡大を図るために、エルフィンロード等の地域資源を活用して自転車を核としたコンテンツづくりを進めています。

内容としては、サイクリングツアー「ツール・ド・キタヒロ」、首都圏へのプロモーション、サイクルガイドマップの作成、サイクリングスタンドの設置を行っています。

【資料3に基づいて説明を行った。】

座長) サイクルツーリズム関係でご意見、ご質問ある方いましたらお願いします。

○委員からの意見

- 折角、コンセプトブック内で「北広島駅まで輸送する」という表現を使っているのに、エルフィンパーク市民サービスコーナーで工具を貸し出すとか、組み立てるスペースを表示したりすると「自転車のまち」ということがよくわかると思います。
※「輸送」…自転車を分解して専用の袋に詰め、公共交通機関で移動すること
 - ◇ まずは空気入れたとか工具を置くところから始められるかだと思います。本当はサイクルスタンドをエルフィンパーク内に置きたかったのですが調整が難しく今年は置けなかったという経緯があります。
- サイクルスタンドは常設ですか。イベント時のみですか。
 - ◇ 6月の頭から11月くらいの雪が降るまで設置しています。単管で作成しているので冬期間は分解して保管する形になります。
- 設置されたサイクリングスタンドは、サイクリストの方にとっては便利だと思うのですが、知らない方から見ると「工事中なのかな?」と思うのですが、こういうものなのでしょう。
 - ◇ 専用のものは高いから工事用資材の単管で代用されていると思います。ですが、私も見かけたときに「あれ?」と思いました。良いものを置けばお金がかかるのはわかります。
 - ◇ 使用方法や注意事項を記載したサイクルスタンドの表示は貼っていますが、確かに見栄えや省スペースを考えると専用のものの方がいいと思います。設置にご協力いただいた事業者さんからも、もっと景観と合ったものを要望される声がありました。
 - ◇ 専用の良いデザインのものであれば景観を損ねないでじっくりくるものはあります。色を塗るだけでも違うと思います。
- 北広島駅には自転車の駅を併設する予定はありますか。自転車の駅に行こうと思うとどうしても車で行かなくてはならなくて、市民だけ見たことがないという人もいるかだと思います。
 - ◇ ツール・ド・キタヒロも市外の方が多いです。
 - ◇ 「自転車のまち」を名乗るには市民を置いてきぼりにしてはいけない。
- 北広島駅に自転車の駅を作って、輸送したり、自転車を乗り捨て出来るようにするのはどうですか。
 - ◇ 基本的にエルフィンパークの内部にサイクルスタンドを置くのはNGです。また、外に置こうとしても、現在は駐輪場がきちんと整備されてしまっているので、その他にサイクルスタンドを置くとなると迷惑駐車の呼び子になってしまうのではないかという懸念があるそうです。スタンドを置けないということであれば、もう駐輪場の中でしかないかな、とは考えておりました。
- 「自転車のまち」というなら、札幌市のポロクルのようにレンタサイクルも充実していらない、と思いました。

- ◇ これは台湾の U-bike も同じ考え方です。
- ◇ 今現在の観光の考え方としては、市外向けの PR という部分が大きいと思います。しかしながら、台湾の U-bike もそうですが、自転車が市民の足にも観光の足にもなるということ、そういうまちづくりもあるということに気づかされました。
- マナーの話の一環ですが、北海道はまだまだ自転車のマナーができてないと感じます。本州では逆走したら警察が捕まえますからね。ところが北海道だけは歩道を逆走してもなにしても怒られない。今後、道外や海外から呼び込もうとした時に、あまりにもマナーが悪くて事故が発生するということになりかねません。これは警察の問題かもしれませんが、小学校や中学校でマナーの教育をする、自転車の乗り方の教育をする、新しい法律に則った方法を伝える、ということをやっていくと、自転車のまちらしくなるのではないかなと思います。
- 恵庭市では、自転車でガーデンや駅などを巡らせるツアーを今年からやっています。ターゲットは本州のパークゴルフをするシニア層だそうで、そこまで長距離走行ではないそうです。
 - ◇ 北広島市は、現状では自転車に「乗っている人」だけがターゲットになってしまっているので、観光としては確かに弱いかもしれません。
 - ◇ スポーツタイプのガンガン乗れる方しかターゲットにされていないというなら、親子とかシニア層はちょっときつい。片道だけでも、乗り捨てられれば違ってくるのかなとも思います。
 - ◇ 「乗っている人」の人口がどれだけいるかというところは大きな部分ですね。今後はやはりレンタサイクルというものを広げていかないと、やっぱり伸びていかない、そう思います。
 - ◇ 事務局から説明もありましたが、ツール・ド・キタヒロ第 1 回はほとんど前年度からのリピーターの方でした。2 回目以降、新規の方増えてきましたけれど、新たな方が入ってこなければ観光人口は伸びていかないかなと思います。
- 市外からは、例えばニセコで行われているツアーに来ている参加者が北広島市に来てくれるのですか。
 - ◇ 多いのは札幌市の自転車愛好家です。札幌市はもともと人口が多いということもありますが。今、道内でサイクリングイベントも乱立しておりまして、ニセコや富良野、美瑛が多いです。そのような中で、北広島は札幌から自転車でも来れますし、参加料の金額的な参加しやすさもあると思います。他のところでしたら、札幌からなら 1 泊しながら車で行って、参加料も含めて 1 万円以上のお金を払ってというイベントですので、そこで差別化できるとは考えています。
 - ◇ ツール・ド・キタヒロが求めているところと、自転車が気軽に楽しめるようなまちづくりというのは、両輪でやっていかなければ難しいということを皆さんと話していて気づかされました。そういった意味で基盤の整備も考えていかなければならないかなと思います。
- 以前、「みんな自転車を買って乗るぐらいの勢いじゃないと」とのご意見がありましたが、そうやっていくべきだなと思います。やっぱりまちの人が知らないといけませんよね。北広島は自転車のまちだと目に見える形になっていくには、エルフィンパーク、駅を中心にゲートウェイという言葉に恥じないようにやってくべきだな、と考えています。

- 北広島市が主役になっているイベント、祭りもそうですが、あれだけテレビやラジオでやっても、結構知られてない。個々のイベント単独でなく、「この月は毎週お祭りやっているんだよ」というPRでもいいかもしれませんね。

事務局) ちょっと本題ではないのですが、北広島市にどうやっていくか知らない人が結構いますよね。

札幌市内でおそらく地下鉄で動いている方の反応聞いていると、JR を利用したことない方も多くて、「北広島を聞いたことはあるけどどうやって行くんだろうね」と言われます。三井アウトレットパークは知っているけれども、とか。チカホでPRをしていると、そういう声が多くありました。

- 「車で目的地が大曲地区」という方が多いのかもしれませんが。駅で何か市外の人が集まるイベントができればいいですね。
 - ◇ 駅が意外と知られていない。どうやっていくの、という声はちょっとショッキングでした。JR 沿線を使われている方は知ってらっしゃるようです。

座長) その他何かありますか。

事務局) アラサツスタンプラリーというものがあるのですが、ご存知の方いらっしゃいますか。

4月28日から2月19日まで、結構長い期間でやるスタンプラリーです。

さっぽろ広域観光圏推進協議会というところがありまして、石狩管内の市町村が協議会を作って“じゃらん”とタイアップし、年に何回か記事を掲載したり、スタンプラリーを実施して記念品を贈呈するという企画などを行っております。

これは冊子とスマートフォンで参加することができるのですが、観光客にどういう動きがあるのかということがある程度わかります。

市内ですとアルトラージェさんに行かれていますよね。また、ショッピングツムラさんという朝日町の商店が「ツムラム」というジングスカンを出していて、ここにスタンプラリーを見た方が結構来ていただいているようです。80名くらいですかね。市民しか知らないと思われていたお店に市外からきているという状態になっています。

そこで難しいのですが、周遊させることによってそれでそれだけ効果があったかということが中々つかみきれっていません。統計上の動きしかとれないので、我々も今後こういった形でこのデータを活用するかといったところは、関係市町村でも頭を悩ませていたところでした。

また、江別のエブリという新しい施設と新篠津方面に行っている人が多いのではないかと、という議論が出ていて、実は石狩の南ではなく北の方に人が流れていると数字上では出ているところでした。

また、札幌市では着地型の観光、長く滞在してもらうためには札幌だけでは無理で、やはり近郊と連携していかないといけないという認識は持っているそうです。そこで札幌市だけではなくて、近隣市町村とでスタンプラリーをやっているということです。この冊子は追加で増刷しているということもあるそうです。

このスタンプラリーは、目的地に行ったら家に帰る、のではなくて他の場所にも周ってもらう、という周遊観光の取り組みの一つです。それを広域的にやっている、と。まだ期間もありますので、皆さまも是非ご参加していただければと思います。

○委員からの意見

- 紹介場所を選ぶのは札幌市ですか。
 - ◇ じゃらんさん経由で市から情報提供を行っています。いろいろなテーマがあり、それに沿ってじゃらんさんの方である程度はピックアップしているのですが、こちらからも情報提供はしています。
- エブリへのメインの交通手段は車ですよね。観光客はやはりレンタカーで行けということですかね。旅行者がエブリに行くとは考えにくいですが、アラサツのターゲットはどこでしょうか。
 - ◇ やはり札幌市近郊の道央圏をターゲットにしています。プラスして管外から来ていただいた方の目につくよう、駅などにも冊子を配架しPRをしています。
 - ◇ 江別市もエブリのようなレンガを通じた観光PRというものをやっていたらいいと思います。

座長) それでは、議事の方をこれで終了とし、意見交換に移りたいと思います。

6. 意見交換

座長) 新たに何かこの場でということがあれば意見をお願いしたいと思います。

○委員からの意見

- 先ほど自己紹介の中で、道商連でやっているサイクルツーリズムの取り組みにも顔を出しているということをお話ししました。その取り組みの中で、静岡の方から来て、実際に北海道を走られたサイクリストの方々と意見交換したのですが、静岡の方はボランティアで自転車ガイドが育っているそうですね。それも時間を競ってレースをするようなものではなくて、のんびりと、北広でやっているような、食を一つのテーマとして美味しいものを食べながら景勝地を巡るというものです。それをボランティアのガイドが引率すると。
そのボランティアガイドがキーですよ、ということを静岡の皆さんが口々におっしゃっていましたので、自転車のまち、或いはサイクルツーリズムということをやっていこうとすると、行政だけでなく、市民が演じなければならないパートっていうものはあるんだろうなと思いました。
そこで、本日の冒頭で事務局から説明のあった都市型観光の方向性で、サイクルタウン北広島という項目については、行政だけが「○」になっていますよね。しかしながら、市民等というところが「○」になっていかないといけないかな、と思いました。私含めた自転車愛好家が市の取り組みに協力してもらえらるような取り組み、働きかけというのが重要なと思います。
 - ◇ 市民ボランティアについては、具体的には来年着手していきたいなと思っております。
 - ◇ 北広島市にはサイクリング協会のようなものはあるのですか。
 - ◇ ありません。札幌サイクリング協会や函館サイクリング協会など、北海道の中にもいくつか協会があって、それを束ねている北海道サイクリング協会という組織があり、その上に日本サイクリング協会という組織があります。その協会の中でも、会員の中で北広島市でツーリングに行くですとか、そういった活動はされているみたいですが、あくまで

もコミュニティの中で走りたい人がされているイメージですね。

- ◇ 市役所の中に自転車部のようなものはあるのですか。
- ◇ あります。このコンセプトブックの写真に載っている人たちは全員市役所の自転車部の人間です。先ほどボランティアガイドのお話が出ていたと思いますが、ツール・ド・キタヒロには、市の自転車部もボランティアとして協力してもらっています。やはり人材育成の必要性は感じています。
- 私は日高の振興局と一緒に台湾へ誘致活動をしております。台湾はジャイアントというメーカーがありますので、そこの方に来てもらって実際に走ってもらってコースも作りました。盛んなのは襟裳と浦川と十勝ですね。日高管内で日台親善協会を作ったこともあって、東部、中部、西部といった形で3コース作成しました。ただ問題なのは、町によってターゲットにしている国が違って、例えば新日高ですとタイです。町の考え方が違うこともあるので、単体自治体で考えている部分と広域で考えている部分でマッチしていない場合もあるようです。
 - ◇ その単体自治体がターゲットにする国というのはどうやって決めているのですか。
 - ◇ 基本的には、住民や議員のつながりがあるところからというのが非常に多いですね。そこでなければならぬということはない。新日高の場合はそれがたまたまタイだったと。タイでもかなり富裕層で、マイジェットで来るような方ですから、お金を落とすだろうということ。しかしながら町で作っているコースが決まっていますので、町民の方には恩恵がないそうですね。売上があるのはしまむらさんとか、電気屋さんですね。
 - ◇ 北広はそういうのが全部あるじゃないですか。あとはきっかけですよ。
 - ◇ 北海道観光振興機構の事業で、今度の11月13日に台湾の日月潭というところでイベントがあります。そこにブースを出展するというので声かけがあって、参画を検討しています。

座長) あとは他になにかありませんか。なければ次に移りたいと思います。

7. その他

【次回開催日時について確認】

8. 閉会

議長) それではこれをもって閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。